

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2023年 1月 31日

事業所名：ハーティワンクローバー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	子どもの利用に応じて、設備を補充し不要物を撤去した。	1階・2階に十分な活動スペースがある。	現状の通り、必要に応じて変更。
	2 職員の適切な配置	子どもの人数に対して、最低でも2～3人に一人のスタッフが付くようにしている。	①明るく丁寧に接してくれている。 ②とても親切で安心して預けることができる。	現状の通り、必要に応じて変更。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	絵を用いた掲示・荷物整理などのルーティン化した流れを導入。	お家のようなアットホームな環境で貴重。	バリアフリーには対応していないので、なるべく対応できるように変更を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃・子どもの高さに応じた配置の工夫。	①その日の予定・行動が掲示されている。 ②子どもにとって安心できる感じがある。 ③清潔で活動に合わせた空間である。	現状の通り、必要に応じて変更。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回のスタッフ全員ミーティングの実施。連絡グループLineを作成し、情報共有をしている。		職員が積極的に活用できるように工夫・検討。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状では大きく無し。相談支援事業所による評価を口頭で聞いている。		現状の通り、必要に応じて変更。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回のミーティングにて実施。		ミーティング日を増やし、より詳細に相談することを検討。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントシートをもとに保護者から意見を聞き、作成している。必要に応じて、更新を行う。		現状の通り、必要に応じて変更。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの能力・発達段階・生活環境に応じて、優先度の高いニーズを考え、個別・集団の実施。	①ニーズを読み取って計画してくれている。	現状の通り、必要に応じて変更。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達段階に応じて、計画に記載。		現状の通り、必要に応じて変更。
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画を基に、個別・集団の活動時間を取り実施。	①計画に沿った支援が行われている。	現状の通り、必要に応じて変更。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月1回のミーティングにて実施。		年齢層・発達段階に応じて、チームを作り対応することを検討。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇に療育時間に変化なし。利用に関して、振替などで調整し、家庭で過ごしやすいように変更し支援を行う。	季節に応じたモノづくりなどを行っている。	年齢層・発達段階に応じて、チームを作り対応することを検討。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化している流れと、流動的な流れを組み合わせて、1日の療育時間を編成している。		現状の通り、必要に応じて変更。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	子どもが来る前に打合せを行っている。		現状の通り、必要に応じて変更。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	次の日に実施、もしくは連絡事項グループLINEにて共有。		現状の通り、必要に応じて変更。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳による記録の他に、学習内容の記録、月1回のミーティング。		現状の通り、必要に応じて変更。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回、モニタリング・支援計画の見直しを実施。	現状の通り、必要に応じて変更。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援担当者会議が実施されたことがないため、参画無し。	現状の通り、必要に応じて変更。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケア児は在籍していない。	実施していない。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケア児は在籍していない。	実施していない。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育園からの保育士による見学対応が年内に2件あり。	現状の通り、必要に応じて変更。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現状、卒業していた子ども無し。	現状の通り、必要に応じて変更。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現状、連携した子ども無し。	現状の通り、必要に応じて変更。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園遊びで交流する機会がある。	これから増えていくといいと感じている。現状の通り、必要に応じて変更。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	無し。	特に無し。	実施していない。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、グループLineを通じて、説明。	丁寧に説明してもらった。	現状の通り、必要に応じて変更。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時、グループLineを通じて、説明。	丁寧に説明してもらった。	現状の通り、必要に応じて変更。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	直接、もしくはグループLineを通じて支援。	行われている。	現状の通り、必要に応じて変更。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	直接、もしくはグループLineを通じて連絡・情報共有。	とてもわかりやすく教えてもらっている。	現状の通り、必要に応じて変更。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	直接、もしくはグループLineを通じて指導・助言。	行われている。	現状の通り、必要に応じて変更。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施無し。	①父母会の目的がわからない状態なので、必要性を感じていない。 ②他の親とも交流できたら良い。	実施していない。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に記載。	説明してもらった。	現状の通り、必要に応じて変更。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	電話以外に、グループLineを作成し、気軽に連絡、相談できるようにしている。	素早く対応してくれている。	現状の通り、必要に応じて変更。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	グループLineにて、時程表や活動写真を伝えている。	Lineで活動内容・様子を報告してくれている。	現状の通り、必要に応じて変更。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きロッカーにて保管。 個人情報同意書を提示・捺印。	細かく配慮している。	現状の通り、必要に応じて変更。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に説明。 スタッフにはミーティング時に説明。	特に無し。	現状の通り、必要に応じて変更。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年に1回実施。	特に無し。	現状の通り、必要に応じて変更。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修計画に取り組み、年2回程度実施。		現状の通り、必要に応じて変更。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明。		現状の通り、必要に応じて変更。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現状、対応無し。 アセスメントシートに記載があれば実施。		現状の通り、必要に応じて変更。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で起こった場合は作成。情報を共有。		現状の通り、必要に応じて変更。